

第 29 回鹿児島県高等学校新人水泳競技大会参加にあたって (新型コロナウイルス感染拡大予防対策)

- (1) 本大会は有観客で実施するが、参加選手1名につき、その親族（2親等以内）1名までとする。
※ 今後の感染拡大状況によっては急遽、無観客になる場合がある。
- (2) 大会参加者（選手（マネージャー含む）・引率者・監督・保護者・競技役員・その他入館予定者）は大会参加当日において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。
 - 平熱を超える体温である（概ね 37.5℃以上）
 - 咳、喉の痛みなどの風邪の症状
 - だるさ（倦怠感）、息苦しさがある
 - 味覚や嗅覚の異常
 - 体が重く感じたり、疲れやすかったりする
 - 過去 14 日以内に新型コロナウイルス感染症陽性の人と濃厚接触していない（濃厚接触者ではない）
 - 過去 14 日以内に同居家族に新型コロナウイルス感染症の感染が確認された方や濃厚接触者がいない
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触していない
- (3) 大会参加者は大会2週間前から「事前健康チェックシート」で体調チェックを行い、大会当日の入館時には必ず「入館者健康チェックシート」を提出すること。（選手・引率者・監督は入館者一覧表を添えること）
- (4) 今大会は AD カードによる入場者コントロールを行うため、AD カードを携帯していない者の入館を認めない。また、AD カードは首から下げ、常時見えるようにするとともに、複製や他人への譲渡および貸与は絶対に行わないこと。
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。選手も泳ぐとき以外はマスクを必ず着用すること。
- (6) 館内のアルコール消毒ポンプが置いてあるところでは、必ず手指消毒を行うこと。
- (7) トイレを利用した際は、必ず備え付けのハンドソープで手を洗うこと。
- (8) 監督・引率者がウォーミングアップやクーリングダウン時に選手との会話や指示をする際は、マスクに加え、できるだけフェイスシールド・アイガード・ゴーグル等を着用し、眼からの飛沫感染を防ぐこと。またホイッスルは電子ホイッスルを使用すること。
- (9) 館内の動線については表示板や係員の指示に従うこと。
- (10) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (11) 大会期間中、すべての場面において人との距離（最低1m）をとって行動すること。
- (12) 更衣室の利用は短時間とし、個人の荷物を置かないこと。
- (13) 応援は大声を出さず、拍手・バルーンスティックで行うこと。（太鼓や鳴物等での応援は禁止）
- (14) 食事をする際は人との距離をとり、対面を避けて、黙食に務めること。
- (15) 退館する際は、自分たちが利用した観客席（その周辺も含む）の消毒をすること。
- (16) 会場までの移動の際は、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (17) 宿舎を要する場合でも感染症対策を怠らないようにし、特に部屋間の移動を極力避けること。
- (18) 大会終了後2週間は各自で健康チェックを行い、新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者、接触者となった場合は必ず、本県体育連盟水泳専門部まで連絡をすること。